

コレクション展

色、いろいろ



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

2022年6月7日[火] - 9月4日[日]

豊田市美術館 展示室1-4

ギャラリー・ガイド

芸術表現に色彩はつきもので、その関係は切っても切れないものでした。物には固有の色があり、空は青、雲は白というように約束事もありました。そんな色についての固定観念を覆したのは印象派に代表される近代の画家たちで、固有色にとらわれず、目に映る色、自身が感じ取った色を表現しました。さらに次の世代であるモリス・ドニは、絵画を「本質的に、ある秩序で集められた色彩によって蔽われた平面である」と定義しました。絵画を成り立たせているのは色彩であると断言しつつ、色自体を抽象的なものとみなし、その秩序と配置は芸術家次第で決まるという考えは、現代美術につながるものです。

現代では、色彩は身の回りの事物を再現するためのものというよりは、芸術家の思考や感情を表現するという役割に重きが置かれるようになりました。作家たちは、さまざまな観点から色を選び、用いて作品を制作し、私たちに提示しています。本展では、色彩という切り口で豊田市美術館のコレクションを見わたし、色のさまざまな使い方に注目して作品を紹介します。

モノクローム(単彩)

展示室1

モノクロ映画、モノクロテレビなど、映像作品でモノクロームというと、白黒の世界を思い浮かべることが多いでしょう。一方、絵画などにおいてはモノクロームといってもさまざまな色が使われていて、色彩は多様な相を示しています。個々の作品は1色のみで表現されているという点でモノクロームの表現となっているのですが、そのことが表現の強さにもつながっています。

B/W(白黒)

展示室4

白黒で表現された作品、それは色の無い世界と私たちは感じ取ります。色彩という観点からは、色みや鮮やかさがなく、明るさの強弱のみで表現された作品という説明がふさわしいでしょう。明るさを作り出す光、写真はその光を捉えて表現しているのですが、作家により光の捉え方やコントラストの作り方はさまざまで、作品から受ける印象も大きく異なります。

ポリクローム(多彩)

展示室2

自然を映し出したり、身の回りの事物を描写したりするために、古来、芸術家たちはさまざまに工夫して目に見える世界の色を再現しようとしてきました。近代以降、色彩は作家の観念的な思考を表現するようにもなり、作品におけるその役割は大きく変貌しました。抽象的、装飾的なモチーフを描き出したり、色だけで主題を表現しようと試みたり、さらには既製品の色を作品に持ち込んだりと、色彩の使われ方は作品により千差万別です。

色で/を表現する

展示室4

例えば青色が一面に広がる画面、そのような作品を目にしたときに、真っ青な空、紺碧の海を思い浮かべることが多いかもしれません。あるいは青という色彩に「冷たさ」といった感覚を覚えることもあるでしょう。同じように、他の色を見て何かを思い浮かべたり、感じ取ったりすることがあるはずです。色は、それによって何かをほのめかしたり、それ自体が表現の対象になったりするのです。

素材の色

展示室3

素材が生のままの状態^きで用いられた作品たち。素材の色がそのまま作品の見た目の色となっています。それは、作家が作品に色を与えるということを意識することなく、そのまま素材の色を用いている場合もあるでしょうし、あるいは、素材の色を作品の色として意図的に表現に取り込もうとした作家もいるようです。さらには、生のままの状態^きにあえて手を加えて素材の色を導き出している作品もあります。

モノクローム(単彩) (展示室1)

山口 啓介
原子力発電所 6
1995年
アスファルト、樹脂、顔料、紙
280.0×369.0cm

若林 奮
樹皮と空地-桐の樹
2002年
木、銅、鉄、紙、インク
サイズ可変

ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
129.0×97.0cm

ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襷のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

ジュゼッペ・ペノーネ
黒鉛の皮膚-方鉛鉱の影
2007年
黒鉛、カンヴァスに貼った紙
400.0×600.0cm

ポリクローム(多彩) (展示室2)

中西 夏之
山頂の石蹴り No.0
1969年
油彩、カンヴァス
73.5×91.0cm

横内 賢太郎
Book-CHRI 6750
2005年
染料、メディウム、サテン
97.0×130.0cm

トニー・クラッグ
無題 (棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0cm

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

イミ・クネーベル
DIN規格 I B1-B4
1994年
アクリル、アルミニウムシート、合板
各34.0×25.3×8.0cm (4点組)

素材の色 (展示室3)

青木 野枝
Untitled
1995年
鉄
250.0×100.0×100.0cm

河口 龍夫
関係-質
1978年
綿布、銅板、液体
200.0×100.0×1.4cm

河口 龍夫
関係-質
1981年
綿布、鉄板、雨水
183.2×91.7×1.5cm

若林 奮
大風景 (4th Stage)
1964, 91年
アルミニウム、鉄、木
54.0×134.5×55.0cm

李 禹煥
刻みより
1973年
木
99.0×141.0×4.0cm

ジュゼッペ・ペノーネ
息吹 7
1978年
テラコッタ
168.0×72.0×65.0cm

B/W(白黒) (展示室4)

松江 泰治
ANDES 1995 #13
1995年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
ANDES 1995 #14
1995年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
PATAGONIA 1995 #6
1995年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
SOUTH AFRICA 1995 #8
1995年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
ALPS 1996 #12
1996年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
NEW ZEALAND 1996 #1
1996年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
COLORADO 1997 #27
1997年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
COLORADO 1997 #30
1997年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
IRAN 1998 #17
1998年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

松江 泰治
KOREA 1999 #3
1999年
ゼラチンシルバープリント
66.0×77.0cm

山本 糾
落下する水-那智滝
1991年
ゼラチンシルバープリント
200.0×125.0cm

山本 糾
暗い水-立山 I
1994年
ゼラチンシルバープリント
100.0×250.0cm

山本 糾
考える水 8
1997年
ゼラチンシルバープリント
100.0×125.0cm

色で/を表現する (展示室4)

秋吉 風人
Rooms
2002年
油彩、カンヴァス
41.0×41.0cm、24.2×41.0cm、
27.3×41.0cm、31.8×41.0cm
(4点組)

高松 次郎
板の単体 (赤)
1970年
ラッカー、木
177.0×177.0cm

原口 典之
Untitled CD-40
1981年
ポリウレタン、アルミニウム・ハニカム
ボード
183.0×183.0×14.0cm

イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

シャルロット・ポゼネンスケ
レリーフ・シリーズB
1967/2007-2014年
RAL標準色塗料、アルミニウム、
支持台
各100.0×50.0×14.0cm

オラファー・エリアソン
グリーンランド ランプ
2006年
ステンレススティール、アルミニウム、
電球、ケーブル
52.0×52.0×52.0cm

常設展 (展示室5)

梅原 龍三郎
少女アニー
1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm

岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

岸田 劉生
鯰坊主
1922年
油彩、板
41.1×31.5cm

国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

小堀 四郎
修道士の顔
1930年
油彩、カンヴァスボード
40.8×33.0cm

奈良 美智
Ein großes Gesicht
1991年
アクリル、紙
78.0×56.0cm

奈良 美智
Untitled
1993年
ペン、紙
30.2×14.7cm

奈良 美智
Untitled
1999年
色鉛筆、紙
27.5×17.5cm

奈良 美智
Dahlia...Dahlia...Where Are You?
I'm Still Here...
2000年
色鉛筆、紙
29.5×20.5cm

奈良 美智
Untitled
2007年
色鉛筆、紙
29.6×21.0cm

奈良 美智
Younger than Now
2016年
ボールペン、紙
29.7×21.0cm

奈良 美智
Through the Break in the Rain
2020年
アクリル、カンヴァス
220.0×195.0cm

藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩、カンヴァス
76.0×63.5cm

宮脇 晴
少女の像
1923年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

宮脇 綾子
テラコッタ
1972年
アプリケ
29.0×28.0cm

宮脇 綾子
はにわ(踊る男女)
1985年
アプリケ
27.3×24.3cm

宮脇 綾子
あつ、おじいちゃんだ
1985年
アプリケ
44.5×42.5cm

ジャン・アルプ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0cm

ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0cm

アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

メダルド・ロッシ
門番女
1883-84年
ブロンズ
38.0×35.0×16.0cm